

代表者	代表取締役 三船 法行	資本金	26億5,882万円
連絡担当者	中平 洸	従業員数	1,176名
設立年月日	1951年7月26日	URL	https://www.tocalo.co.jp/

事業内容	溶射を中心とした表面改質技術の受託業務 【加工内容】 ○溶射 ○機能性薄膜 ○ZACコーティング ○TD処理 ○PTA処理 ○ODLC 【加工材料】 金属、セラミックス、サーメット、樹脂、カーボン、等	 【宮城技術サービスセンター】

工場・営業所	本社：〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
主要取引先	鉄鋼、製紙、石油化学、樹脂、輸送機器、産業機械、エネルギーなどの基幹産業や、最先端の半導体・FPD、宇宙開発、医療分野など様々な業界の企業様とお取引がごございます。

品質等に係わる認定	ISO9001、ISO14001、JIS Q 9100、Nadcap
薬機法に係わる許可	

	機械・設備名	台数	仕様・型式
1	溶射装置		
2	ブラスト装置		
3	精密洗浄機・クリーンオープン・クリーンルーム		
4	各種分析装置		

製品・技術の特徴

～表面処理の総合メーカーとして、溶射をはじめとした表面改質技術を展開～

☆溶射技術

金属やセラミックスなどを高温で熔融させた微粒子を吹き付けることによって加工対象物の表面に高機能皮膜を形成。

溶射材料や溶射方法の組み合わせによって、さまざまな特性を付与することが可能です。

☆溶射以外の表面改質技術

ウェットプロセスや化学反応を利用した皮膜形成技術により、お客様のニーズに適した表面改質を提案致します。

○医療用器具(目的:非粘着性、耐食性、濡れ性制御etc.)

【ソリューション事例】

☆表面改質技術で付加できる機能－生体親和性－

金属製人工股関節の生体親和性を高めて、リハビリ期間をできるだけ短くするため、溶射技術が用いられています。

○適用例:人工骨(インプラント)

生体親和性のある材料で人工骨の表面をポーラスに仕上げることによって、生体組織とのなじみが早くなり、リハビリテーション時間を短くすることが可能。

